

1. 科目名 (単位数)	福祉と経営 I (2 単位)	3. 科目番号	SBMP1130						
2. 授業担当教員	金 宰弘								
4. 授業形態	テキストを輪読し、その内容について教員による解説を加え、必要に応じ、受講生によるディスカッションを行う。	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	経営学関連科目の履修が望まれる。								
7. 講義概要	<p>社会福祉分野と経営分野は別々に発展した学問領域ではあるが、実は密接な関係性がある。社会福祉事業が機能するためには適切なマネジメントが図られる必要があるからだ。つまり、営利を目的としない福祉の現場においても、社会福祉施設が適切に運営されていくためには、適切なマネジメントが行われることが必要である。それだけではなく、一般企業においても、従業員の福利厚生やメンタルヘルスの向上の観点から、福祉マインドを持ったスタッフが求められ始めている。</p> <p>そこで、本講座では、適宜補足レジュメ等を用いながら、まず福祉マインドの醸成を目的としてまずは介護業界に絞って福祉における経営課題を学び、それぞれの解決策について考える。</p>								
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉(介護)業界の実態を理解できるようになる。 ・福祉(介護)業界における経営課題について理解できるようになる。 ・福祉(介護)業界が取るべき経営戦略のあり方を理解できるようになる。 								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	アサインメントは特に課さないが、15回の授業の中では各授業内容と関連した演習問題か小テストを課す。授業内で課題レポートを提示する。								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 日本介護福祉経営人材教育協会監修・馬場博(編集)『はじめて学ぶ介護福祉のマネジメント』、2015年。</p> <p>【参考書】 社会福祉士養成講座編集委員会編『新社会福祉士養成講座 11 福祉サービスの組織と経営 第5版』中央法規、2017年。 馬場博監修・介護経営の未来を考える委員会『現場リーダーのための介護経営のしくみ [改訂版]』日本医療企画、2012年。 山縣文治・岡田忠克編『よくわかる社会福祉 [第11版]』ミネルヴァ書房、2016年。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストの輪読や小テストを通じて、福祉業界について理解できたかどうか 2. レポートを通じて、福祉業界における経営課題について理解し、取るべき経営戦略を考えることができるか <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>授業への積極的参加度</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>小テスト (毎回冒頭10分)</td> <td>30%</td> </tr> </table>			授業への積極的参加度	40%	レポート	30%	小テスト (毎回冒頭10分)	30%
授業への積極的参加度	40%								
レポート	30%								
小テスト (毎回冒頭10分)	30%								
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. (ZOOM 授業の場合) 授業中はビデオおよびカメラを ON にすること。 特段の理由なくビデオを ON にせず、かつ教員の呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。 (対面授業の場合) 授業中にスマホ操作、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳重な指導下におく。 2. 授業はディスカッションやプレゼンテーションを中心に行う。また、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力の育成という、本学の基本方針の達成に向けて授業を行うので、事前に下記の事項を確認する。 ① 正当な理由なく授業を欠席、遅刻、早退しないこと。 ② 理解できない部分は質問する等、積極的な態度で授業に参加すること。 ③ 授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話等、電子機器の電源を切っておくこと。 ④ 課題の提出期限を厳守すること。 <p>なお、受講生の興味関心、理解度に応じて、講義の順序や内容を変更することがある。</p>								
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	介護サービス市場 (ガイダンス)	事前学習	教科書 pp. 2~16 を読む。						
		事後学習	高齢化の進展と拡大する介護サービス市場について理解し、自分の考えをまとめる。						
第2回	地域包括ケア	事前学習	教科書 pp. 17~27 を読む。						
		事後学習	地域包括ケアを学ぶことで地域での役割を理解し、自分の考えをまとめる。						
第3回	介護人材の見通しと確保の方策	事前学習	教科書 pp. 28~33 を読む。						
		事後学習	介護人材の見通しと確保の方策を理解し、自分の考えをまとめる。						
第4回	介護サービス供給主体の多様性	事前学習	教科書 pp. 34~49 を読む。						

		事後学習	介護サービス供給主体の多様性について理解し、自分の考えをまとめる。
第5回	介護保険制度のしくみ	事前学習	教科書 pp. 52～67 を読む。
		事後学習	介護保険制度のしくみについて理解し、自分の考えをまとめる。
第6回	介護福祉事業経営	事前学習	教科書 pp. 68～87 を読む。
		事後学習	介護福祉事業経営を理解し、自分の考えをまとめる。
第7回	介護福祉サービスにおける行政機関の役割	事前学習	教科書 pp. 88～95 を読む。
		事後学習	介護福祉サービスにおける行政機関の役割を理解し、自分の考えをまとめる。
第8回	介護福祉事業のマネジメント①：経営理念と組織	事前学習	教科書 pp. 107～110、pp. 115～121 を読む。
		事後学習	介護福祉事業のマネジメントとして、経営理念と組織基盤について理解し、自分の考えをまとめる。
第9回	介護福祉事業のマネジメント②：利用者	事前学習	教科書 pp. 101～107 を読む。
		事後学習	介護福祉事業のマネジメントとして、利用者について理解し、自分の考えをまとめる。
第10回	介護福祉事業のマネジメント③：サービス提供プロセス	事前学習	教科書 pp. 110～115 を読む。
		事後学習	介護福祉事業のマネジメントとして、サービスとサービス提供プロセスについて理解し、自分の考えをまとめる。
第11回	介護福祉事業のマネジメント④：職員管理	事前学習	教科書 pp. 121～123 を読む。
		事後学習	介護福祉事業のマネジメントとして、職員管理について理解し、自分の考えをまとめる。
第12回	介護福祉事業のマネジメント⑤：財務・コスト管理	事前学習	教科書 pp. 123～128 を読む。
		事後学習	介護福祉事業のマネジメントとして、財務・コスト管理について理解し、自分の考えをまとめる。
第13回	介護福祉事業のマネジメント⑥：リーダーシップ	事前学習	教科書 pp. 130～145 を読む。
		事後学習	介護福祉事業のマネジメントとして、リーダーシップについて理解し、自分の考えをまとめる。
第14回	介護福祉事業所の構築	事前学習	教科書 pp. 146～160 を読む。
		事後学習	社会に貢献する介護福祉事業所の構築について理解し、自分の考えをまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	これまでの授業内容を確認する。
		事後学習	15回授業（まとめ）の内容を理解し、自分の考えをまとめる。